

調布教会 教会学校 週報

2025年度 みことば



「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。」
ヨハネによる福音書3章16aより

きょうかいがっこうれいはい
教会学校礼拝プログラム

2025年 4月6日

ぜん そう
前 奏
*賛 美

「主イエスの十字架の血で」 プレイズ&ワーシップ174

お祈り

天の父なる神様、新年度に入りました。そしてレントの時を過ごしています。私たち罪人の罪を赦して下さる為に十字架へと向かわれているイエス様の受難への道を心に覚えつつ過ごすことが出来ますように信仰を導いて下さい。神の子でありながらイエス様は誰よりもご自分を低くされて人々に仕えた歩みをされたお方です。私達も少しでもイエス様のように生活していけますように…このお祈りをイエス様のお名前によっておささげいたします。アーメン

せい しょ
聖 書

マタイによる福音書20章20～28節【日本聖書協会共同訳】 新約聖書 p. 38

こうどくしへん
交読詩編

交読詩編(10) 詩編72より こどもさんびかp.205

説 教

「本当にえらい人」

イエス様が全ての人の罪を赦すために十字架へとつけられる為に、エルサレムへ向かう途中、弟子の家族がイエス様に願い事をしました。その願いとは、イエス様も叶えられるものではありませんでしたし、ましてや十字架の苦しみへ向かうイエス様を悲しませてしまうほどの願いだったのです。人は誰でも偉くなりたい尊敬されたいと思う気持ちを持っていると思いますが、イエス様は「自分を低くして皆に仕える者になりなさい」と言われました。まさにイエス様の生涯の歩みそのものですね。私達に生き方の見本を見せて下さったのです。

あんしょうせいく
暗唱聖句

あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者となり、あなたがたの中で頭になりたい者は皆の僕になりなさい。(マタイによる福音書20章26節b～27節)

もくそう
黙想タイム

*賛 美

「冠も天の座も」 讚美歌21-443

けんきん かんしやく
献金と感謝のお祈り 24-1

*主の祈り

天にまします我らの父よ。願わくは御名をあげさせたまえ。御国を来たらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試みにあわせず、悪より救いだしたまえ。国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン

お知らせ

- ・本日は4月の誕生日会です。お祝いしましょう。・来週の分級は絵本の読み聞かせがあります。
- ・主日礼拝前半の「子ども説教」への出席をお待ちしています。
- ・教会に来られない時は、LINEを利用して家庭礼拝をおささげしましょう。
- ・次週のお話もたのしみにしてください。

*賛 美

36 いまでかけよう

*祝 福

八木 浩史 牧師

*後 奏

20 その時、ゼベダイの息子たちの母が、息子たちと一緒にイエスのところにて来て、ひれ伏し、願い
事をした。21 イエスが「何をしてほしいのか」と言われると、彼女は言った。「私の二人の息子が、あなた
の御国で、一人はあなたの右に、一人は左に座れるとおっしゃってください。」22 イエスはお答えにな
った。「あなたがたは、自分が何を願っているか、分かっていない。私が飲もうとしている杯を飲むこと
ができるか。」彼らが、「できます」と言うと、23 イエスは言われた。「確かに、あなたがたは私の杯を
飲むことになる。しかし、私の右と左に座ることは、私の決めることではない。それは、私の父によ
って定められた人々に許されるのだ。」24 ほかの十人の者はこれを聞いて、この二人の兄弟のことで腹
を立てた。25 そこで、イエスは一同を呼び寄せて言われた。「あなたがたも知っているように、諸民族の
支配者たちはその上に君臨し、また、偉い人たちが権力を振るっている。26 しかし、あなたがたの間
では、そうであってはならない。あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者となり、27 あなたがた
の中で頭になりたい者は、皆の僕になりなさい。28 人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、
また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのと同じように。」

<さんび>

しゅ じゅうじ か ち 主イエスの十字架の血で

しゅイエスのじゅうじかのちで
わたしはゆるされ みかみとわかいをして
へいあんをえました
だからいますべてのなやみを ゆだねよう
しゅはここに へいわをみたしてください



かんむり てん ざ 冠も天の座も

1. かんむりもてんのざも おしまずにすてて
ちにくだるみこイエスを とめるへやはない

* (くりかえし)

おいでください イエスよ ここに このむねに

2. みつかいがこえたかく えいこううたうとき
みこイエスはうまごやで うぶこえをあげた *
3. きつねにはあながあり とりにすはあるが
かみのこのやすまれる ねどこはあれのだ *
4. かなしみなやむものを ときはなつイエスを
ゴルゴダでくるしめた ひとのつみふかさ *
5. てんごくにえいえんの へやをそなえられ
しょうりのしゅはわたしを みもとによばれる
よろこびにあふれて しゅのもとにゆこう

